

【ユニット】 医学英語

【ユニットディレクター】

UD：三村 俊英（リウマチ膠原病科）

UD 補佐：藤森 千尋（教養教育） 伊澤 宜仁（教養教育） 林 禅之（教養教育）

【一般的な目標】

4年生は、本学の医学英語カリキュラムの到達目標である「医学・医療に携わる者に必要な基礎的英語運用能力を身につける」のまとめとなる学年である。初回の授業では、入学当初に引き続き TOEFL の外部基準の試験を受け、自らの客観的な英語熟達度を再度把握する。その結果を将来のキャリア形成と結びつけながら継続的に英語を学習する計画を立てるために活用する。5回の授業では、臨床医学入門のための医学英語を身につけることが主な目標であり、1～3年で学習した内容を基礎に、実際に患者に接するための医学英語としてまとめ、臨床実習の準備をする。また、英語論文読解や UpToDate の活用方法について学び、臨床現場において必要な情報収集力と問題解決力を養う。更に、世界で医学・医療に貢献するためにはどのような知識、技能が必要かについて学び、国際的な視野で課題に取り組む力を身につける。

医学英語の授業をとおして、臨床入門に相当する内容について、身体所見の表現など基本的な英語表現や医学用語を学習するだけでなく、PBL の延長として医学英語を学びながら臨床的な思考過程の育成も目指している。更に、医学・医療に関する国際的な課題に対応できるよう幅広い知的向学心を養い、自らの課題を追究する方法を学ぶ。

【具体的な目標】

1. 米国式臨床医学を理解するための考え方（鑑別疾患など）を理解する。
2. 臨床医学のマナー，カルテ記載方法に習熟する。
3. 医療面接に必要な英会話に習熟する。
4. 論文や学術報告書の読解方法に習熟する。
5. UpToDate などのネット情報サイトを活用し、国内外の医療情報を収集して概要をまとめることができる。

【学習方法】

WebClass にアップされた講義資料をダウンロードして授業に備える。各回の講義内容に応じて、1時間程度の予習・復習を行い、課題を提出する。必要に応じて、ノート PC やタブレットなどを持参する。授業方法や評価方法についての詳細は、初回のオリエンテーションでも説明する。課題のフィードバックについては、授業内での解説もしくは WebClass での講評で行う。また定期試験の結果についての講評は WebClass にて行う。

【評価方法】

医学英語は演習科目であるため、出席が75%に満たないものは評価の対象とならない。筆記試験に平常点（出席状況や課題の提出、授業の取り組みなど）を加味し、総合的に評価し、100点満点のうち65点以上を合格とする。TOEFL やオンラインプログラムも成績に加味する。

【教科書】

- ◆ 各回の講義前に資料を WebClass にアップする。

【参考書】

- ◆ 必要に応じて、講義中に紹介する。

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1	04月22日	(月)	4~6	オリエンテーション・TOEFL	藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 2	05月20日	(月)	2~3	医療面接(1)/ 世界で医師として働く(1)	田村 (NMC) 松田 (総七産科麻酔科) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 3	05月28日	(火)	4~5	UpToDateの活用	樽本 (感染症科) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 4	06月03日	(月)	2~3	医療面接(2)/世界で医師として働く(2)	田村 (NMC) 松田 (総七産科麻酔科) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 5	06月10日	(月)	2~3	医療面接(3) / 論文読解 (1)	田村 (NMC) 佐々木 (病理学) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 6	06月17日	(月)	2~3	医療面接(4) / 論文読解(2)	田村 (NMC) 佐々木 (病理学) 藤森 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育)

【ユニット】

医学英語

【ユニットディレクター】

三村 俊英（リウマチ膠原病科）

【コンピテンス】

9. 地域および国際社会の医療

【マイルストーン】

9-(4). 医療情報を英語で収集し、その概要を説明できる。

【評価方法】

9-(4). 筆記試験

【補習および再評価の方法】

9-(4). 再試験